

製品名: PMCA1 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe87579**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:200-1:500,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW:139 kDa; Observed MW:130-250 kDa

抗原情報

遺伝子名	PMCA1
別名	PMCA1; PMCA1kb
遺伝子 ID	490
SwissProt ID	P20020
免疫原	ヒト PMCA1 の合成ペプチド

背景

この遺伝子によってコードされるタンパク質は、反応サイクル中にアスパラギン酸リン酸中間体を形成することを特徴とする P 型一

次イオン輸送ATPaseファミリーに属する。これらの酵素は、非常に大きな濃度勾配に逆らって真核細胞から二価カルシウムイオンを除去し、細胞内カルシウム恒常性維持に重要な役割を果たす。哺乳類の細胞膜カルシウムATPaseアイソフォームは、少なくとも4つの別々の遺伝子によってコードされており、これらの酵素の多様性は転写産物の選択的スプライシングによってさらに増大する。異なるアイソフォームおよびスプライスバリエントの発現は、発生、組織および細胞型特異的な様式で制御されており、これらのポンプは特定の細胞および組織の生理学的ニーズに機能的に適応していることを示唆している。この遺伝子は、細胞膜カルシウムATPaseアイソフォーム1をコードしている。異なるアイソフォームをコードする選択的スプライシング転写産物バリエントが同定されている。[RefSeq提供、2008年7月]

研究分野

画像データ



PMCA1 ウサギモノクローナル抗体を 1:2000 で使用した T24 細胞抽出物のウエスタンブロット分析。